

三菱ケミカル(株)岡山事業所 人材育成・OMP推進 概要

■沿革

- ・1989年 T-TEC開設 (TECHNICAL-TRAINING & EDUCATION-CENTER)
- ・1990年 事務部 教育Gr発足
- ・1997年 (株)エムネット発足……………(水島坂出研修センター発足)
- ・2009年 エムシーヒューマネッツ(株)発足…(アルパスタッフ社とエムネット社統合)
- ・2011年 総務部 人材育成Grへ移行……………(水島、坂出分離)
- ・2017年 企画管理部 人材育成・MVP推進室へ移行
- ・2022年 企画管理部 人事育成・OMP推進へ移行 4月D&Iチーム発足

■要員 グループ長以下総勢17名(内5名再雇用者)2023.1.1時点

グループ長1名 人材育成 10名、OMP推進 3名、D&I 3名

■外部組織との関係

(社)山陽技術振興会……………山陽人材育成講座運営
※MCC提供講座あり

教育研修施設配置図



配置図は当日説明のみ

技術研修センター

T-TEC (TECHNICAL-TRAINING & EDUCATION-CENTER)

伝承館



高所体験設備



講義室



計装設備



液抜・洗浄体験設備



電気設備



温水循環設備(ミニプラント)



噴出被液体験設備



カットモデル

技能教育センター—STC (SKILL-TRAINING CENTER)

第2単位



第1単位

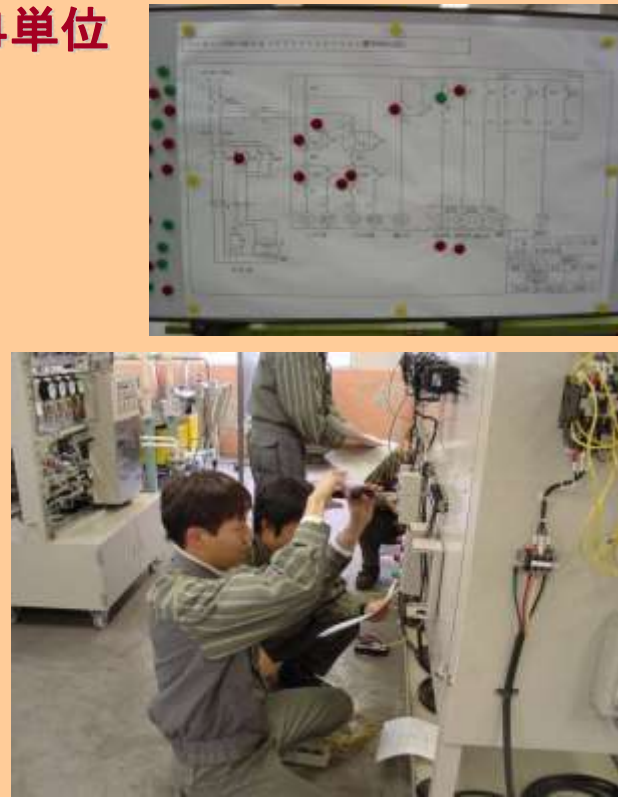


- 第1単位: ボルト・ナットの基礎
- 第2単位: 軸受・軸封・潤滑油の基礎
- 第3単位: 伝達装置の基礎
- 第4単位: 電気シーケンスの基礎
- 第5単位: 空気圧の基礎

第3単位



第4単位



第5単位



6 施設・設備のご紹介について（つづき）

（3）体感安全教育実施状況

ア 体感安全教育の課題について

（ア）人材・体制

（イ）教育内容（コンテンツ）・指導方法・教材

①「体感を通じて何を学ぶのか」（リスクに気付くためのポイント・対処方法等）という教育の目的を明確にするための工夫

→冒頭に、事故、トラブルの大半は、過去の事例であることを説明している。

事故事例に学び、考えることが危険なものを危険と感じる感性を磨く一歩になることを解説。事故事例を紹介して何をすべきであったのか、について講師とともに考える教育を実施。（添付資料例1、2）▶

②体験者の想像力を刺激し、自発的な「気付き」を促す教育内容・指導方法職場内に存在する様々な死角とその危険性、及び適切な対応方法について検討の工夫

→静電誘導の危険で思わぬところに危険があるという説明をしている。

理論の説明の後、絶縁された導体の実例を説明。（添付資料3～8）▶

（例）フィルター、ボール弁の危険など、他にもないかリストアップさせる。

③実際の業務に近い体感教育（身近な例）とするための工夫

→（例）宙づりバケツの危険性を実験を通して解説。実験では、灯油を流し込み、静電気のたまる実験を実施。アースをつけることで一瞬にして除電できることを実験で確認。（添付資料9～13）▶

④教材の作成

→風化させないために、同じ教育を繰り返し教育で、社員（事務系除く）に実施。

→基本は集合教育だが、音声吹込み教材を作成し、個人で勉強できるようにしている（コロナ禍対応もあり）

⑤その他

→今後は、いつでもどこでも誰でも受講できるよう電子教材準備中。

(ウ)効果

①受講者の危険意識の向上等

→講座後に、メールで、「こういう作業があるが問題ないか」などの問い合わせがあり。

→社内動画教材、山陽人材（外部）受講者アンケートで前向きな意見多。

（添付資料14、15） 

②体感安全教育を活かした災害防止のための設備改善・基準制定について （現在の危険体感教育の中に、機械安全や安全基準を織り込んでいるか、 どのような内容を織り込んでいるか）

→機械安全は織り込んでいないが、正しい知識をもって職場で対応できる人材の育成に寄与している。（窒素置換作業の重要性、アース設置の必要性など）

③その他

→新人教育時には、（O×レベルだが）理解度の確認試験を実施。

(エ)コスト

①年間の運用費用等（人件費、維持・管理費等）

人件費 : 講師 2 人役

維持管理費 : メンテ費用略500千円/年

②施設・設備の新設等

特になし

③その他

特になし

イ 体感安全教育の普及・促進について

(ア)社内での活用

入社時の教育 + 繰り返し教育

(イ)第三者への開放（特に対中小企業）

①関連企業

山陽技術振興会A講座の実施（7回/年）西日本コンビナート関係

<https://www.sangishin.com/kougi/detail/169>

②一般への開放

高圧ガス保安協会（広島支部）での講座、1回/年

(ウ)第三者への情報提供

特になし

(エ)「ネットワークの構築等（共有化）」

石化設備のある、福岡、香川、三重、茨城事業所に同設備あり

(オ)その他

なし